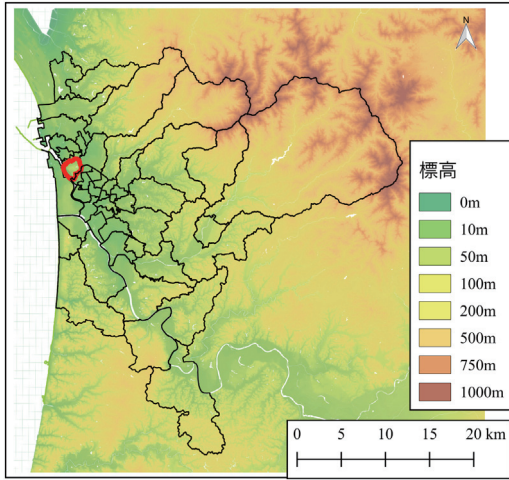


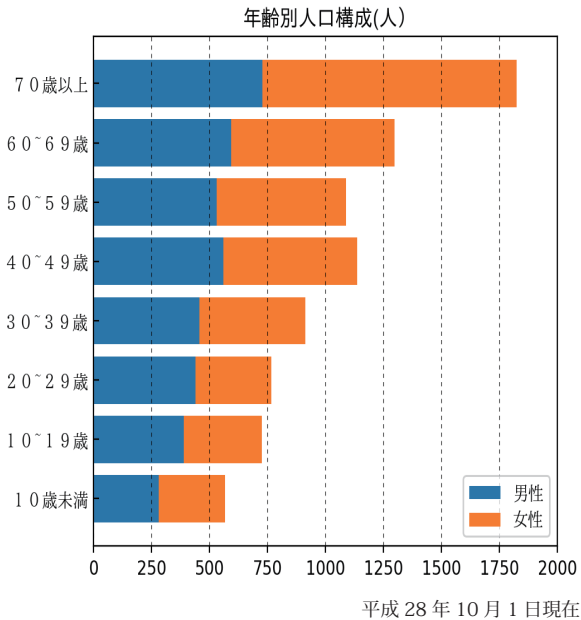
15：高清水小学校区

位置図



1 居住者の現況

人口	8,306 人
世帯数	3,701 世帯
65 歳以上人口	2,517 人
10 歳未満人口	565 人



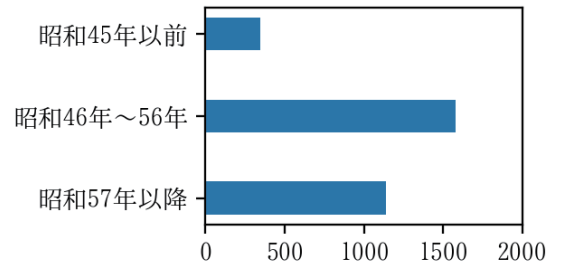
2 建物に関する指標

■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	3069
非木造建物	434

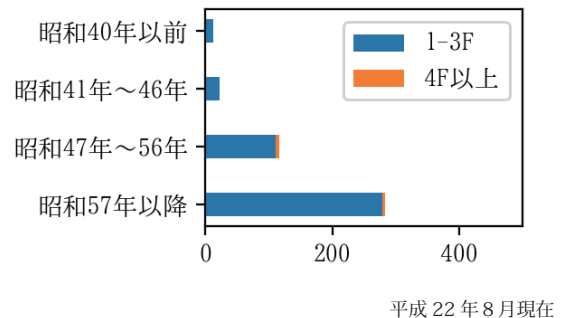
■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	1,140
昭和46年～56年	1,581
昭和45年以前	348



■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	279	4
昭和47年～56年	111	6
昭和41年～46年	22	0
昭和40年以前	12	0



自然的・社会的基本指標

秋田市北部に位置し、空素沼、焼山、秋田城跡を中心とし、寺内、将軍野地区からなる地域である。西側は旧雄物川に面している。1983年日本海中部地震では、旧雄物川沿いを中心に液状化が発生した。国道7号に沿ってその東側が急傾斜地となっている。小学校の北側(将軍野地区、旧国道7号沿い)に建物が密集している。人口構成としては65歳以上の高齢者層が全体の30%であるが、40歳未満の若年齢層の相対的比率が比較的高い。非木造建物は全建物の1割を占める。昭和57年以降の建物は全体の41%である。

3 自然災害に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 洪水

指定河川	雄物川		
浸水面積 (%)	10.2		
最大浸水深 (m)	ランク 3		

■ 土砂災害

* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	10	鵜ノ木、児桜、高野、将軍野南一丁目、大小路、焼山他
土石流危険渓流	0	該当箇所なし
地すべり危険箇所	0	該当箇所なし
なだれ危険箇所	10	高野、児桜、神屋敷 他

* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	11	高野 1 号、将軍野南 1 丁目、大小路 1 号、2 号、3 号 他
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

■ 地震および津波

* 地震 (どこにでも起こりうる直下の地震: M6.9)

平均震度	震度 6 弱	
(計測震度)	(5.67)	
震度 6 強以上となる面積 (%)	17	
液状化危険度ランク	4	
建物全壊率 (%)	1.8	

* 津波 (秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合)

浸水面積 (%)	16.7	
最大浸水深 (m)	10.7	

4 災害時要配慮者に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 要支援者関連施設 (収容施設のみ)

種別	施設数
高齢者支援	3
婦人幼児支援	2
障がい者等支援	0

■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	0
こども園	1
幼稚園	1

■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	1

■ 学校等

種別	施設数
小学校	1
中学校	1
高等学校	1
大学・短大・高専	1
養護学校等	0

5 防火・防災施設に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 消防関連施設

消火栓数 (箇所)	94
防火水槽 (箇所)	13
消防車台数 (台)	12
消防ポンプ数 (台)	3
消防団員数 (人)	54

■ 避難所/避難場所

災害種別	施設数
洪水	7
土砂災害	7
地震	7
津波	5
福祉避難所	1
津波避難ビル	0
津波警報サイレン	0

■ 救急・防災関連施設

種別	名称/箇所数
管轄消防署	土崎消防署
管轄警察署	秋田臨港警察署
病院・医院数 (歯科を除く)	5
最寄りの救急告示病院	秋田厚生医療センター
自主防災組織数	24

自然災害時の危険要素

旧雄物川に面し国道 7 号線より西側の区域は、雄物川の洪水氾濫により浸水する可能性が高いと想定されている。ただし、想定される浸水深は概ね 50cm 以下となっている。秋田城趾周辺の丘陵斜面部に土砂災害 (特にがけ崩れ) の危険性が指摘されており、警戒区域等として 11 箇所 (急傾斜) が指定されている。

地震動としては、国道 7 号線を境にその東側の地区と西側地区では揺れやすさがことなり、西川地区では比較的強い揺れとなる可能性がある。液状化の発生する危険性も高い。津波により国道 7 号線以西で 5 m 以上の浸水となることが想定されている。

防災上の課題と対策

1983 年日本海中部地震では、国道 7 号の西側、旧雄物川沿いの地域で液状化が発生した。この地域は現在、工業用地として活用されているが、将来の大地震発生時には再び液状化が発生するおそれがあることから、注意が必要である。

旧耐震木造家屋の占める割合が高いことから、相当数の建物被害並びに人的被害が想定される。避難所の収容可能人員は全人口の約 14% である。秋田城跡の位置する高台周辺は、土砂災害 (とくに、がけ崩れ) の危険性が高いことから、避難経路を設定する際には注意が必要である。地区によっては、最寄りの他小学校区の避難所の利用も含め、避

難方法を検討する必要がある。さらに、本学区区内において、緊急輸送道路である国道7号線は各種災害に対する脆弱性が高いため、学区区内では交通渋滞の発生等や学区内住民の避難/救助活動に支障が及ぶ可能性があり、これらを予め考慮した地域計画が望まれる。

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類 (○のみ利用可)					
		洪水	がけ崩れ/ 土石流	地震	津波	大規模火災	
将軍野中学校グラウンド	x	○	○	○	○	x	津波 12,920 人 津波以外 6,460 人
将軍野中学校 (体育館)	○	○	○	○	x	x	601 人
寺内地区コミュニティセンター	○	○	○	○	x	x	80 人
寺内地区コミュニティセンター敷地	x	○	○	○	○	x	津波 1,700 人 津波以外 850 人
将軍野地区コミュニティセンター	○	○	○	○	x	x	80 人
高清水小学校グラウンド	x	○	○	○	○	x	津波 13,700 人 津波以外 6,850 人
高清水小学校 (体育館)	○	○	○	○	x	x	416 人
高清水公園	x	x	x	x	○	x	105,000 人
秋田県青少年交流センター 駐車場	x	x	x	x	○	x	3,120 人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
特別養護老人ホーム 高清水寿光園	寺内後城 6-41	018-880-1050

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
(該当なし)			

津波警報サイレン

施設	所在地
(該当なし)	

